



祖父、「レナード W. ケート」から始まった日本宣教の歴史  
「日本宣教 100 年の歩み」  
ジョン・キャスカート師

And Jesus came and spoke to them, saying, "All authority has been given to Me in heaven and on earth. "Go therefore and make disciples of all the nations, baptizing them in the name of the Father and of the Son and of the Holy Spirit, "teaching them to observe all things that I have commanded you; and lo, I am with you always, even to the end of the age." Amen.

(Mat 28:18-20)

# Missions

## CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネーションズ・ジャパン聖書学院 2011. 9・10月号 No.144



## 日本宣教 100 年の歩み

## Missions

祖父、「レナード W. クート」から始まった日本宣教の歴史

## ■日本宣教 100 年目の節目

■クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院 (CFNJ 聖書学院) のこの快適なゲストルームで、机の前にこうして座り、愛する国と宣教について、自分の様々な考えや思いを書きとめようとした今、今年が私の家族がこの国で主に仕えてからちょうど 100 年という節目の年であることに気づきました。それは、大正時代、私の祖父レナード W. クートから始まりました。祖父はビジネスマンとして神戸に来ましたが、日本駐在の宣教師と一緒に住んだことから、1911 年に救われました。彼は実業界を辞めて、信仰によって生き、1969 年に主が彼を天国に召す時まで、ここで福音を伝え続けました。主は彼を、とりわけ、日本人に、聖霊に満たされるということを伝えるために用いました。今日、生駒聖書学院およびたくさんの教会が、彼を通して聖霊が生んだミニストリーを続けています。

■今日まで話を進めて 100 年後の現在、生駒聖書学院および米国のインターナショナル・バイブル・カレッジ (IBC) を卒業した何千人もの聖書学院生は、キリストの召しに応え世界中の村々へ福音を届けるために、日本や他の多くの国々で宣教師として仕え、そして死にました。キリストに捧げた一つの命の影響が何を生み出すかは私たちにはわかりしれません。私たちの日本での働きは、妻のグロリアと私が 1982 年に日本に移って来たときに始まりました。私の祖父が始めた日本ペンテコステ教団と共に働くために招かれたのです。同労者たちの素晴らしいチームとともに、私たちは天理市および奈良県のその他複数の場所に教会を開拓しました。1995 年、私たちは子供たちを育て上げ、ヘレナに拠点を置く教会開拓のためにモンタナに移りました。2 年前、私たちの 4 人の子供のうち 2 人が奈良県での仕事を続けるために宣教師として日本に戻りました。そしてこの 7 月、まるで偶然のように、私たちが日本を離れてから約 16 年後、私たちは家族全員がまた一緒に、主に仕えて日本にいることに気がついたのです。これは計画されていたことではありませんでしたが、とても重要な約束でした…。それは私たち家族の 100 周年記念だったのです！

3 月の地震による前例のない災害とともに、今、前例のないほど日本人の心の扉が開かれています。私たちに

夏期国際宣教学校 (ISM) 学院長

ジョン・キャスカート師&  
奥様のグロリア夫人



とっては預言的な時点のように思われ、ここに私たちは天の定めの手を見る事ができます。

## ■大宣教命令の祝福

■しばしば、私たちはクリスチャンとして神の他の命令とともに大宣教命令を祝福と考える代わりに重荷と見てしまいます。しかし、一度追い求めれば、神の命令が祝福へのすばらしい入り口であることがわかります。神のすべての命令は神と神の御国にだけ益となるのではなく、私たち個人の豊かさの実現にとっても益となるのです。大宣教命令を受け取ることは、クリスチャンライフにおいて神から受ける最も偉大な祝福のひとつです。最も豊かな人生は、主の収穫の場において主と肩を並べてくびきを負う人生です。そこであなたは主と最も近くにいることができるという特権を与えられ、主の鼓動を最もよく感じる事ができるのです。

■それでは、宣教は私たちにとって、一家族としては何を意味しているのでしょうか？それは、私たちの心を、神と神の国の為に共にいる家族として活性化させてくれています。また私たちに同じゴール、確信、そして望みを持たせてくれます。そして私たちに多くの国々からなる国際的な家族を与え、神が計画し任命した他のいろいろな文化の中でキリストとの関係を経験させてくれて、私たち自身の能力不足から私たちを解放してくれます。私たちはそれがより豊かな方法で神の愛を知るための場所であり、そこで私たちが神の満ち満ちた様にまで満たされることに気づきました。この宣教は私の家族に豊かで満ち足りた人生を与えてくれました。また、世界伝道に参加したことで、神の備えの倉庫に入り込むことができました。、私たちのミニストリーの小さな場所にだけでなく、主の収穫の場全体に焦点を当てるときにやってくる超自然的な祝福の備えというようなものがあることがわかりました。私たちは祖父のスローガン「不可能は挑戦となる」が真実であることを学

び、また「最高のことはこれからやってくる」ということを学んでいます。

## ■神の収穫の扉が開く年

■今年は私たちの家族にとって預言的な時ですが、また日本にとっても預言的な時であると私は信じています。3 月 11 日、東北の 28,000 人も大切な人々の命をただ 1 度の大きな津波がさらって行きました。たった数ヶ月前には、40 万人の今や家を失った人々が物質的な財産を熱心に求めていましたし、それが普通のライフスタイルだったのです。しかし一つの波がそれらの所有物や過去に根を張っていたものを、投げ捨てられる瓦礫の山にしてしまいました。残されたものは東北地方に開かれた、幅 10km、長さ 400km の宣教のチャンスの扉です。

■私の家族はここ北海道にある CFNJ 聖書学院でのインターナショナル・スクール・オブ・ミッションズ (ISM) 開始の一員として、再び日本に戻ってくるという特権に預かっています。これは、私たちだけではできないこと…主の畑の収穫の終わりの日のための働き手を育て上げるための ISM の設立を一致団結して行おう、という 4 力国からなる 5 つの宣教団体の協力的努力です。なぜ北海道なのか？私たちは 歴史的に福音に対して閉ざされている国々からたった数時間しか離れていない距離にいます。ここは訓練基地として、また宣教の最後の辺境に働き人を送る発射台として戦略的に完璧な立地にあります。この ISM に参加している 3 組の家族がみな福島エリアから参加していることは興味深いことです。神様は何をしているのでしょうか？ここ北海道に来るために、グロリアと私は奈良から車で北上して来ました。私たちは石巻を通って半日運転しましたが、そこで人々の喪失感を感じました。それから私たちは北海道行きのフェリーに乗るために仙台の被災地を通らなければなりません。私たちの船は、地震と津波によって破壊された海岸沿いを 14 時間航海しました。そこで非



キャスカートファミリー

常にたくさんの命が海へ押し流されたのです。

■折々、自分が一生に一度の瞬間を経験していることに気付くことがあります。これはそういった瞬間の一つでした。船が進んでいったとき、海にはプラスチックの家庭用品が浮いているのが見えました。そこは聖なる海と言ってもよいほどのところではないでしょうか。なぜならそこで非常にたくさんの人たちがすべてを失ってしまったからです。今は、福音と共に生きようとの警鐘が鳴らされている時です。クリスチャンが希望の福音とともに突入して行き、生きている人々の命に永遠の変化をもたらすためのかつてない機会です。ときどき私たちは宣教を、教会の主たる仕事ではなく、教会の仕事の一部にすぎないと考えます。もし仮に死後の 命や来るべき裁きのようなものがないのであれば、そうかもしれません。しかしそれらは実際にあります。神はこの世界を愛しています。そして神は私たち人間をも同様に愛しています。私たちがキリストの福音を持って、できる限りすべての魂に到達して神の国の為に弟子とするようにと命じているのが父なる神様の心です。私たちに、時の窓が閉まる前に多くの機会が与えられているだけです。

■100 年間私の家族は日本の心に入るための扉が開かれるようにずっと祈り続けてきました。今、その扉が開いています。CFNJ 聖書学院で開かれているインターナショナル・スクール・オブ・ミッションズについて是非知って、友人・知人にお伝えください。日本中が見ています。必要とチャンスがあるこの偉大な時にキリストの愛を持ってキリストの教会が駆け付けることができますように。

イエスの御名で… ジョン・キャスカート



東北の被災地

## 短期国際宣教学校

インターナショナル・スクール・オブ・ミッション

# I.S.M. スクール開講!

CFNJ聖書学院でこの夏初めての試みである夏期限定の学校、ISM（インターナショナル・スクール・オブ・ミッションズ）が7月11日から7週間にわたり開催されました（8月26日迄）。日本のみならず世界各地から多くの講師が来られ、今世界で起こっている神様の御業を熱く語ってくださいました。以下、学びを受けた学生のレポートです。



### 「あなたはここで何をしているのか？」 「What are you doing here?」

高澤 香織（神戸からの参加）

■今回、ISMに参加することができ、本当に感謝です。ふたを開けてみると、ここに集まっている人たちが、世界宣教というビジョンの下、信仰により大きな犠牲を払って来ていることを知り、みんな本物だ…と身が引き締まる思いでした。同時に私自身が、神様に「すべてをささげてごらん、そうしたら、私が祝福しよう」と言われているような気がしました。あるクラスで、”What are you doing here?”「あなたはここで何をしているのか」とポスターみたいに部屋に貼っておくといわれました。本当にそうだな、と思いました。私も心のどこかにその質問があったからISMに来たのだと思います。どのクラスも、朝のチャペルも今度はいったいどんな内容なのだろうと、毎日が楽しみで仕方ありません。ここに来なければ聞くことがなかった世界宣教の働きをかいま見る事ができました。この恵みは、思っていたよりずっと大きいものでした。最後に、夏休みにも関わらず、私たちを真心こもったおもてなしで受け入れて下さった、CFNJ聖書学院の皆様に心から感謝致します。



### 「私の歩むべき道」

阿部 光太郎（岩見沢からの参加）

■神様の導きで、ISMに参加させていただきました。もう三週間がたちました。参加する前は、「英語も話せず、クリスチャン用語もままならない私が、こんなインターナショナルなクリスチャンのど真ん中に飛び込んでしまっても大丈夫なのか？」と、かなり緊張していましたが、本当に神様はすばらしく



Report!

2011.7.11~8.26

# International School of Missions



恵みたっぷりの時間を毎日過ごさせていただいています。恵みは授業時間だけでなく、食後のみんなでの片付け時間に、それぞれの方々の証しを聞かせていただいたり、午後の授業の無い時間には、だれかが奏でる賛美が毎日聞こえてきたり、夜もコーヒーを飲みながら神様の話を分かちあったりと、全ての時において絶え間なく神様を感じることが出来て、すごく恵まれています。この三週間で、改めて強く感じ、また思わされたことは、神様は全ての人々をものすごく愛している。そして、全ての人々を救いたい。神様はそれだけを求めている。片手間じゃなくそのことだけに全力を注いでいる。そして、それを私たち人間自身に託している。私たちがどんな人間であれ、私たちを選び、用いたいと願っておられる。今の私には見えないけれど、神様は私の歩むべき道を知っている。だから神様から目を離さず前進しよう!!!という熱い思いでした。主に感謝します。

## 販売 ISM 全講義内容

- 「クリスチャンホームの建設」（全5時間）  
／ウィル&オータム・パーソンズ師
- 「賛美と礼拝」（全6時間）／岡田 留美子師
- 「有名宣教師の生涯」（全6時間）  
／グドールジェラルド師
- 「エリヤとエリシャ」（宣教師の心）（全10時間）  
／ジェリー・ジャンセン師
- 「世界宣教の展望」（全11時間）  
／ジョン・キャスカート師 他
- 「クリスチャンの品性と弟子訓練による証し」（全10時間）／チャールズ・J・グリコ師
- 「教会開拓」（全8時間）／ニコライ・ポリアコフ師
- 「礼拝」（全4時間）／木谷 直也師
- 「新しいぶどう酒と新しい皮袋」（全6時間）  
／ロッド・プラマー師
- 「神の宣教師」（全4時間）  
／コルネリヤス・ファベイ師
- 「主の御業を次世代に」（全6時間）  
／リチャード・グドール師
- 「リバウンド－神の国のための人となる」（全10時間）／ビル・パーソンズ師
- 「自然に超自然」（御霊に満たされた生活）（全10時間）／ロドルフォ・ガルサ師

●CD (1時間) ~500円・DVD (1時間) ~800円  
(お届けは9月中旬以降となります。詳しくは事務局まで。)

あなたは既に、イエス様の弟子訓練学校に親愛なるみなさま、イエス・キリストを信じる人はみな100%信仰によって救われていますが、私たちは、イエス様との個人的な関係によって成長しなければなりません。イエス様のように考え、話し、行動するためです。これを実践する一つの良い方法は、CFNJ聖

入学しています！

イエス・キリストの「弟子訓練学校」入学要項

(あなたのお名前を記入してください。)

私、は、

イエス・キリストの弟子訓練学校で、訓練を受けていることをすべての人に宣言します！

- 訓練学校に入学した時／「私がキリストを救い主として受け入れたとき。」(ヨハネ 1:12)
- 入学への道／
  1. 「暗闇の王国から抜け出す」(Ⅱコリント 4:6・コロサイ1:13)
  2. 「光の王国に入る」(Ⅰペテロ 2:9・ヨハネ8:12)
  3. 「イエス・キリストの死と復活によって」(ヨハネ 11:25)
  4. 「信仰の賜物によって」(エペソ 2:8)
  5. 「聖霊によって与えられた」(使徒 2:38)

- 公の証／「水のバプテスマ」(コロサイ2:12・ガラテヤ 3:27)
- この学校の目的／「イエス・キリストの似姿に造り変えられる。」(Ⅱコリント3:18)
  - ・父なる神は私たちを御子のかたちに似た者とするようにあらかじめ定めていた。(ローマ 8:29)
  - ・私たちがキリストの満ち満ちた身丈に達するため…(エペソ 4:13)

- 教師／「聖霊様」
  - ・聖霊様は神様のことをあなたがたに啓示します。(Ⅰコリント 2:10)
  - ・その方はあなたがたを全ての真理に導きいれます。(ヨハネ16:13)

- 時間割／「1日24時間・週七日間」
  - ・いつでも証しできるように備えていなさい。(Ⅰペテロ 3:15)
  - ・わたしはいつもあなたをほめたたえます。(詩篇34:1・Ⅰテサロニケ5:16)

- 目標／「生きた神との親密な関係」
  - ・あなたがたがわたしを選んだのではなく、私があなたがたを選んだのです。(ヨハネ15:16)
  - ・心を尽くして知性を尽くして、力を尽くしてあなたの神を愛せよ。またあなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。(マタイ 22:37・マルコ12:30・33)

- 義務／「人々に証しをし、弟子をつくる」
  - ・それゆえ、行って全ての国々で弟子を作りなさい。(マタイ24:14・マルコ16:15)
  - ・私が望んでいることは、全ての人が救われ、真理を知ることです。(Ⅰテモテ 2:4)

- 日々のスケジュール／「思いと言葉と行動を通して、イエス・キリストの証しをする。」
  - ・あなたがたは、全ての人々に読まれる神の本です。(Ⅱコリント 3:2)

- 力を与える方／「イエス・キリストご自身・聖霊を通して」
  - ・私は私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。(ピリピ 4:13)
  - ・私はあなたを決して見放さず、見捨てない。…私はいつまでもあなた方と共にいます。…(マタイ 28:20)

- 態度／「愛・平安・喜び・確信」
  - ・主はキリスト・イエスにあって、いつも私たちを勝利に導いてくださる。(Ⅰコリント15:57)
  - ・私たちはキリスト・イエスを通して神と平和を持っている。(ローマ5:1)
  - ・私はあなたと共にいて、私の義の右手をもってあなたを強める…(イザヤ 41:10)

- 授業料／「自分自身ではなく、イエス様に焦点を当てること。自分自身やサタンではなくイエス様に従順であること。」
  - ・もし私についてきたい者があれば、自分自身を否定し、それから私について来なさい。(マタイ16:24)
  - ・もしあなたが私を愛するなら、私のおきてを守りなさい。(ヨハネ14:15)
  - ・私の願いではなく、あなたのみこころになりますように。(ルカ 22:42)

- 報酬／「小羊の婚姻の食卓で、生ける神との永遠のいのち」
  - ・良くやった。良い忠実なしもべだ。御国に入りなさい。(マタイ25:23)
  - ・目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの。愛するものために神が用意して下さった素晴らしいものはこのようなものである。(Ⅰコリント 2:9)



CFNJ 聖書学院創立者・ISM 講師  
チャールズ・J・グリコ師



●ゲストスピーカーの授業は、どなたでも無料で聴講出来ます。(席上献金あり、テキスト代有料。)通常の授業も聴講が出来ます(有料)又、入学を検討されておられる方には、無料体験入学制度もありますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。

## 2011年度2学期 ゲストスピーカーと 1週間の講義課目

(2011年9月5日(月)～11月25日(金)まで)

北海道富良野市のラベンダー畑



9月12日(月)～16日(金)

全日本リバイバルミッション代表。  
リバイバル聖書神学校校長。

有賀 喜一 師

(1・2時間目)



9月26日(月)～30日(金)

日本キリスト宣教団峰町キリスト教会主任牧師。

安食 弘幸 師

(26日・27日は1時間目・28日以降は1・2時間目)



9月26日(月)・27日(火)

平安女学院大学教授。医学博士。

工藤 信夫 師

(2・3時間目)



10月17日(月)～19日(水)

兵庫県高砂市 高砂教会主任牧師

手束 正昭 師

(2・3時間目)



11月15日(火)～17日(木)

真理のみことば伝道協会代表

ウィリアム・ウッド 師

(1・2時間目)

### ■1・2年コース

|                     | 月            | 火       | 水       | 木                     | 金                            |
|---------------------|--------------|---------|---------|-----------------------|------------------------------|
| 1<br>AM 8:45~9:40   | 旧約聖書概論(2)    | エペソ書の学び | 創造科学    | 世界教会史(2)              | 雅歌の学び                        |
| 2<br>AM 10:00~10:55 |              |         |         |                       |                              |
| 3<br>AM 11:05~12:00 | 約束の地を所有せよ(2) | 伝道と賛美   | 児童伝道(2) | 約束の地を所有せよ(2)<br>三浦 雅範 | イエス・キリストの生涯(2)<br>ジェリー・ジャンセン |

### ■アルプスコース

|                     |       |               |           |                 |                 |
|---------------------|-------|---------------|-----------|-----------------|-----------------|
| 1<br>AM 8:45~9:40   | 祈り    | 牧会カウンセリング(2)  | 霊的リーダーシップ | ヨブ記(2)          | 人生に於けるタイムライン    |
| 2<br>AM 10:00~10:55 |       |               |           |                 |                 |
| 3<br>AM 11:05~12:00 | 近郊の牧師 | リーダーシップの21の原則 | 児童伝道(2)   | 聖書釈義(2)<br>松原 望 | 聖書釈義(2)<br>松原 望 |

### ■選択コース

|                      |        |       |        |            |                    |
|----------------------|--------|-------|--------|------------|--------------------|
| 午後<br>PM 13:00~15:00 | タンバウラス | 英語クラス | ドラムクラス | 実習<br>(必修) | ドラマ演劇クラス<br>鍛冶川 紀子 |
|----------------------|--------|-------|--------|------------|--------------------|

(2011年9月5日～11月25日まで。11月29日から海外アウトリーチ) (敬称略)

# 卒業式

■2011年7月1日(金)、1学期の最終日に「高木純一兄弟」が、晴れて2年間の学びを終えて卒業しました。この日、郷里の宮崎県から父親であり、母教会である「ハーベストチャーチ牧師」の高木和秀先生が来られ祝福の祈りをささげてくださいました。御国の兵士として、これからの働きのためにお祈りください。



高木 純一

(25期生・宮崎県)

ハレルヤ！主の御名を賛美します。気が付けば二年間も、学院で学ぶことができました。過ぎてしまえば、全部懐かしい思い出に変わりました。ハレルヤ！すべて備えられ、神様の恵みをたくさん体験する事ができ、感謝、感謝です。こんな私を支え、祈りに覚えてくださったすべての人に感謝します。そして何より神様に従う人生に、召し出してくださった神様に感謝します。



## 台湾・中国アウトリーチ

■2011年度の海外アウトリーチは台湾と中国に行くことが決まりました。この3月、日本を襲った東日本大震災において、いち早く多額の支援を申し出てくださいました台湾と、近年ますますその存在が大きくなり、世界全体に大きな影響力を増す中国。どちらも近い国でありながら、日本とは過去の暗い歴史ゆえに、何かと距離を感じる両地域に訪問することを通して、今、そこで何が起きているのか？また、同じアジアの民、

クリスチャンとして、これからどのように歩いて行けばよいのか、現地に行き様々な事を目の当たりにする中で、多くの事を学んできたいと思っています。今回はチーム分けをせず、学院全体、1つのチームでアウトリーチに出発する予定です。費用などはこれから祈り求めて行き、参加希望者全員ができる限り参加できるように準備していきたいと思っています。どうぞこのためにご支援お祈りをよろしくお願いいたします。

- 期 間／2011年11月29日(火)～12月12日(月)
- 宣教地／台湾 (台北市周辺・東部)・中国 (香港・広州・深圳ほか)
- 目 的／宣教・教会訪問・交流など
- 参加者／学院生・卒業生・講師・スタッフ
- 費 用／約22万円(予定)



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

# CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157  
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: [www.cfnj.com](http://www.cfnj.com) 郵便振替: 02780-4-4688  
●e-mail: [office@cfnj.com](mailto:office@cfnj.com) 学院長/鍛冶川利文

